

ふるさと

JA秋田ふるさととは、新たな期待を創造します。

9

vol.245
2018

【特集】

今、防災を考える。





木村 ^{かんた}冠太くん(横手・4歳)

両親(父:智博さん 母:美紀子さん)と祖父母、曾祖母との6人家族。家ではトマトを育てています。

いつも元気いっぱいな冠太くん。乗り物が大好きで映画「カーズ」の主人公ライトニング・マックウィーンが憧れ。将来の夢はもちろんマックウィーンになること!今日はお顔より大きいメロンを初めて食べてご満悦です。いっぱい食べて健やかに育ってね!



JA通信 ふるさと

September

9

2018

- 02 【トップエッセイ】
あの時、君は若かった。
- 04 【特集】 今、防災を考える。
- 08 ニュース&トピックス
- 12 営農ワンポイントアドバイス
- 13 地元の高校生が行く!突撃!アグリリポート
- 14 農に生きる 沼沢成悟さん
- 16 レシピ
- 17 健康情報
- 18 まめなひと
- 19 JAを知ろう!学ぼう!
- 20 バラエティコーナー
- 22 インフォメーション
- 24 ふるさとの民話
JAの概況 編集後記



メロン

今回使用したメロンは県オリジナル品種「秋田甘えんぼ」シリーズ。7月中旬から8月中旬収穫の「秋田甘えんぼ春系」8月下旬から10月下旬収穫の「秋田甘えんぼ夏系」の系統があります。とろけるような口当たりの果肉と上品でさわやかな甘みが特徴です。糖度が高く、食べた途端に「甘えんぼ」になってしまうかも?

JA秋田ふるさとメロン部会ではこのほかにも数品種を栽培。「ふるさと」のメロンを見かけたらぜひお手にとってみてください。



(撮影日 8月11日)

今、防災を考える。

協力・写真提供／横手市総務部危機管理課

天災は忘れた頃にやってくる

昨年7月、管内で記録的な豪雨災害が発生し、今年には西日本豪雨など、異常気象に伴う災害が日本各地で頻発しています。9月1日は防災の日。災害が起きた際には、皆さんのこれまでの経験や教訓を生かして自らの身を守り、家族や地域の仲間同士で協力し合える体制づくりが鍵^{かぎ}になります。平時こそ防災を考える機会。一緒に防災について考えてみませんか。

平成23年 3月11日東日本大震災
横手市で震度5弱を観測。全域が停電

平成23年 4月 東日本大震災の余震
震度5強による停電

平成23年 6月 大雨による自動車道法面崩落、崖崩れ

地震・土砂災害

「地震から身を守るために」

家具の固定など平時に転倒防止策を施し、危険因子を取り除くことが必要になります。家で地震が起きた場合は落下物からの衝撃を和らげるためテーブルの下に入り、頭と手首を守りましょう。テーブルが近くないときは雑誌や座布団など手が届くものを頭の上に持っていき姿勢を低くしましょう。火の始末は揺れがおさまってから行い、脱出するための出口を確保します。外出先で地震が起きた場合は係員の指示に従いましょう。

「土砂から身を守るために」

山岸に住宅がある方は特に防災マップで土砂災害警戒区域や避難経路、避難場所を確認し、早めの避難ができるよう準備します。雨がやんだ場合でも累積雨量で土砂災害が発生する場合もあるため、平時から確認をしておきましょう。崖や地面のひび割れ、崩落、陥没、地鳴りや山鳴りなど予兆を感じたら迷わず速やかに避難してください。

平成11年	3月	低気圧接近による強風のため屋根トタンなど剥離、農業施設被害
平成16年	7月	集中豪雨 河川敷農作物への被害
平成23年	6月	大雨による自動車道法面崩落、崖崩れ
平成23年	12月	県全域に暴風警報発令。強風により屋根トタン剥離、街路樹倒木
平成24年	4月	爆弾低気圧による風害 農業施設被害826棟、農作物被害22,845㎡
平成24年	7月	住家、非住家の床上床下浸水、農作物は690haを超える冠水被害が発生。24時間雨量で7月の観測史上最大となる107.5 ^{mm} を記録
平成25年	4月	大雨及び強風 雄物川河川公園が冠水 屋根トタン剥離、電線切断など
平成27年	3月	風害 屋根トタン剥離、飛散物、破損被害
平成27年	10月	風害 屋根トタン剥離、倒木ほか
平成28年	4月	風害 屋根トタン剥離、倒木ほか
平成29年	4月	風害 トタン剥離被害
平成29年	7月	横手市では1時間の降水量68.5 ^{mm} 、期間降水量316.5 ^{mm} と観測史上最大の降雨を記録 浸水冠水被害発生

水害・風害



「水から身を守るために」

事前に防災マップでリスクを把握し、早めに避難する心構えが必要になります。災害が起こる前に安全な場所へ避難することが大切です。

道路がすでに冠水した場合や夜間で状況が分からない場合は、無理せず2階など高い所へ避難することも有効な選択肢です。注意情報が出た時点で車でも徒歩でも川に近づかず**田畑は絶対に見に行かないでください**。最新の情報を自治体のウェブサイトや防災ラジオで確認の上、避難を開始します。

「風から身を守るために」

自分の住む地域が台風の進路になるという予報が出たら**気象情報をこまめにチェックしましょう**。自宅と周辺を点検し、被害につながるものがないか確認します。木で倒れそうなものがあれば支柱をして補強します。田畑には防風ネットを張るなどして農作物への被害を最小限にしましょう。また、停電などに備え、懐中電灯や乾電池の用意もしておきましょう。竜巻など進路予測が不能な突風も気象情報を確認し、屋内にいる場合は窓のない部屋に避難して屋外にいる場合は頑丈な建物の中に避難しましょう。



雪害

平成18年	12月～1月	最深積雪190cmを記録 人的事故、建物被害、農業施設被害
平成20年	11月～3月	降積雪量は平年並みであったが人的被害増
平成23年	1月～2月上旬	1月24日横手市雪害対策本部を設置。2月1日最深積雪228cmを記録。農業関係被害は36億7000万円
平成24年		人的被害（除雪作業35件、歩行中の転倒25件）、住家破損など
平成25年	1月7日大雪対策連絡部設置、2月21日に雪害対策部に移行。26日には最深積雪225cmを観測。雪害多発	

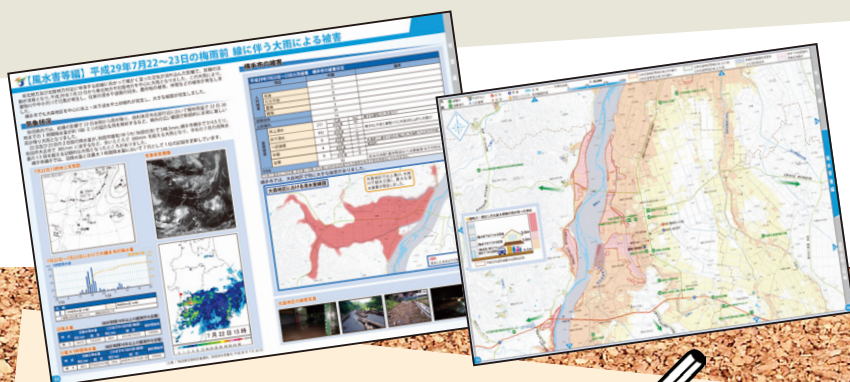
「雪から身を守るために」

家の屋根に大量の雪が積もると重みで家が倒壊する危険や滑り落ちた雪で人や車が埋まる危険もあるため、定期的な除排雪が必要です。間口を広めに、出入り口を2カ所以上確保しましょう。雪下ろし作業の際はヘルメットを着用し、はしごは固定します。一人で作業せず、**家族や隣近所で声を掛け合って作業しましょう**。

高齢で雪下ろしができない方にはボランティアを要請して雪下ろしや雪かきを手伝ってもらえるケースもあります。しかし、すぐに来てもらえるとは限らないため、事前に予約申し込みをし、情報を集めるなど早め早めの行動を心掛けましょう。



横手市危機管理課は平時、防災にかかわる業務を担い、地域の皆さんに予防・防災意識を持ってもらう活動をし、緊急時は災害対策本部を設け減災に努め、避難所の開設などを行っています。今年の3月には防災マップを改訂し、市内全戸に配布しました。平成28年6月10日に国が公表した最新の雄物川浸水被害想定を反映した防災マップを作る準備をしていましたが、その矢先に平成29年7月の豪雨災害が発生しました。身近でもこのような災害が起こることを皆さんに認識してもらいたいと思い、豪雨のページも設けました。防災マップは洪水以外にも土砂災害などを網羅しています。どういう経路で避難するか平時に家族や地域で話し合っていたきたいです。



防災マップの使い方

- ① 自宅の位置や避難場所を確認しよう
- ② 自治会・町内会などで一時避難場所を話し合おう
- ③ 地震や大雨のときに危険な場所を確認しよう
- ④ 危険箇所を避けて避難経路を決定しよう
- ⑤ 実際に避難経路を歩いてみて安全か確認しよう
- ⑥ 災害の対応を話し合おう
- ⑦ 非常持出品を準備しよう
- ⑧ わが家の防災メモを記入しよう

J A 機関誌でも

防災について取り上げています。



「家の光」2017年5月号別冊付録
とっさのときに、すばやく対応できる！
暮らしの救急(99)便利帳

「家の光」2018年7月号
〈特集〉もしものときは、わたしたちの出番！
最強の防災術55

J A 共済に関するお問い合わせは
最寄りの支店・L A・MAまで

万一に備えて考えておきたい
ひと・いえ・くるまのこと

防災マップを活用していますか？

付属の「マイマップシール」を使って
自分の家や避難先を確認しよう！



▲非常持出品の例も掲載

水、非常食、ラジオ、常備薬、タオル など

自然災害の発生を防ぐことはできませんが、**自助・共助及び公助**の連携で、被害を減らすことができます。特に、大規模災害が発生した場合は、直後から様々な活動が必要となり、これらの対策を行政による「**公助**」のみで行うことは困難です。被害を軽減し、災害を乗り越えるためには、自分の身は自分で守る「**自助**」、地域でお互いに助け合う「**共助**」と、行政による「**公助**」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが、災害に強いまちをつくるうえで必要となります。

みんなで考える防災

—横手市総合防災訓練ルポ—



9:00

災害対策本部設置

9:05

横手市中央公民館に
現地対策本部・
避難所開設

9:10

大雨洪水警報発令

9:15

避難準備情報発表

9:30

土砂・水災害
警戒情報発表

9:33

避難勧告発令・
管内広報

9:45

避難完了

避難者は行政区ごとに
避難者名簿に記入

地区での「自主防」
講話やディスカッション
を実施

8月26日、横手市は大雨によって市街地を流れる横手川が氾濫し、土砂災害が発生したという想定で総合防災訓練を実施。近隣6地区の地域住民約200人が参加しました。訓練では防災マップ講話やディスカッションなども行い、参加者は防災への意識を高めていました。



昨年の豪雨災害を受け、JA青年部など
市内4青年団体が横手市と協定を締結

今年7月に災害時の情報開示や救護活動の支援、
救援物資の調達・配給活動の支援、清掃・防疫の支
援のほか平時における防災事業への協力などを目的
とした「災害時における支援活動に関する協定」を
締結しました。



4団体も訓練に参加し、
炊き出しに協力。
参加した住民に
カレーライス170食を
提供しました！

訓練では事前準備をしましたが
有事ではそれができない状態で進め
ていかなければならないと感じ
ました。もしもに備え、迅速に
進められるようにしたいです。

地域の皆さんに
訓練を受けた感想や防災意識、
訓練を受けた感想や防災意識、
平時の対策について聞きました！

- 地区で年1度防災訓練を行っているののでその時に防災を意識。
- 携帯電話で情報を確認している。
- 隣近所で普段から声を掛け合っている。
- 防災グッズの準備をしているが、非常食の賞味期限などこまめに確認する必要があると感じた。
- 「うちの町内は大丈夫だろう」という考えでいたが、訓練を受けて、どこでも災害が起こりうるのだと思った。
- 災害時、仕事の分担などルール作りもしなければならなかった。
- 過去に災害があった例や教訓を生かして、河川の氾濫や強風に備えて倒れないような補強などを施している。
- 東日本大震災のときに非常食を意識するようになった。
- 雪がたくさん積もる前に雪よせをしている。

News & Topics ニュース&トピックス September 2018



今月の組合員のみなさんの活動やJAの行事を、写真と記事で振り返ります。



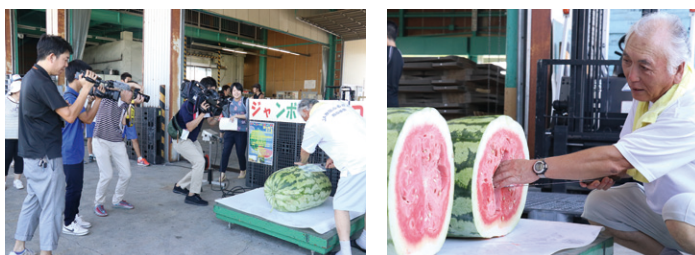
▲JAで職場体験をしていた中学生もスイカの重さに驚いていた



▲睦合保育所、植田保育所、金沢保育園の園児たちが見学し、拍手や歓声が沸き起こった



▲藤原潤一さんが5年ぶり2度目の優勝に輝いた



▲報道関係者も詰めかけ、中を割り糖度も計測。9.5を記録した

ジャンボスイカコンクール 藤原さんが二度目の優勝 地元産スイカを広くPR

十文字営農センターは8月23日、生産者が栽培したスイカの重さを競う「ジャンボスイカコンクール」を十文字集出荷所で開きました。県内一の生産量を誇るJA産スイカの知名度を高め、十文字産スイカを積極的にPRすることが目的。生産者など11組が丹精込めて作り上げた飼料用品種「カロライナクロス」12点を出品し、82.0^{kg}を記録した十

文字三重地区の藤原潤一さんが二度目の優勝を果たしました。

藤原さんは「やっと返り咲いた。天気に恵まれ、適期の水やりが功を奏した」と笑顔で喜びを語りました。コンクール終了後、出品されたうち3点を秋田市の大森山動物園に贈呈。さらに、2位以下の2点を24日から28日にかけて道の駅十文字や秋田ふるさと村に展示し、重さ当てクイズを実施しました。クイズには1029通の応募があり、正解に最も近い応募者へ地場産野菜などをプレゼントする予定です。

桃部会目ぞろえ会 小玉傾向も食味良好 収穫期の見極めを徹底

桃部会は8月3日、主力の中生種である「あかつき」の目ぞろえ会を増田選果場で開きました。市場の担当者や部会員など61人が参加しました。規格や着色、箱詰め方法などについて確認しました。

今年産のあかつきは7月の降水量が平年の7割に留まるといった干ばつの影響で小玉傾向となりましたが、大きな病害虫の被害もなく、好天に恵まれた結果食味は良好となりました。同部会は食味を重視し、収穫ぎりぎりまで樹上で完熟させているほか、個選を実施しており、出荷後に選果場で等級付けを行っています。箱内の玉の品質のバラつきが価格を大きく左右することから、同部会は着色や形状などをより厳しい基準で見分け、価格確保に結びつけることなどを呼びかけました。

長岩一也部会長は「妥協せず、色や硬さをしっかりと見極めた収穫をお願いしたい」と呼び掛けました。



▲あいさつをする長岩部会長



▲出荷規格の説明に熱心に耳を傾ける生産者



▲園主が園地の概要や生育状況について説明し、熱心に耳を傾ける若手生産者



▲若手とベテランが交流で刺激を受け合った

りんご部会交流会 集え！若手生産者 ベテランから技術学ぶ

りんご部会は8月16日、「若手りんご生産者交流会」を開き、30歳から45歳までの部会員20人が参加しました。生産者間の交流を深め、^{けんさん}研鑽し合い、リンゴ産地振興へ結び付けようと初めて開催。管内の優良園地3カ所を視察し、ベテラン生産者から栽培技術を学ぶ園地視察研修を実施しました。千田誠治指導部長は「自分の親や近隣以外の生産者と話をするのも良い勉強になる。研修を通じて自分に活力を与えてほしい」と若手生産者に呼び掛けました。園地を視察した若手生産者の一人は「地域トップレベルを誇る先輩から話をうかがうことができて身になった」と笑顔で話していました。今後の交流会では管内優良系統「ふじ」や「^{せん}葉とらずふじ」の視察、市場視察、剪定検討会などを実施予定です。

青年部活動

県内各所で直売 管内農産物をPR

青年部は8月26日、秋田駅前買物広場とアゴラ広場で農産物市「うめもんマルシェ」(主催：JA秋田青年部協議会)に参加しました。この農産物市は生産者でもある青年部員が対面販売を通して消費者とふれ合い、国産農畜産物の安全・安心に理解を深めてもらおうと開催しているもので、今年で7回目となります。当JAからは8人が参加し、部員が生産した旬の農産物を特別価格で販売しました。このうち、キュウリの詰め放題では参加者が袋いっぱいキュウリを詰め込み、満足気な表情を浮かべていました。また、9月2日にはスーパーモールラッキー駐車場内特設会場で開催した「十文字まるごとマルシェ」(主催：十文字地域づくり協議会)にも参加。青年部員や女性部員15人が軽トラックの荷台を売り場にして、地元の農産物の直売や詰め放題、「ミニトマトすくいゲーム」などを行い、こちらも大盛況となりました。



▲キュウリの詰め放題を楽しむ参加者
(8月26日 秋田市)



▲ミニトマトすくいを楽しむ参加者
(9月2日 横手市十文字)



▲白熱したプレーを展開した参加者



▲優勝杯を手にした藤原さん(左)

年金友の会グラウンドゴルフ大会 暑さに負けず白熱プレー 優勝は藤原友子さん(平鹿)

JAは8月2日、第15回組合長杯争奪年金友の会グラウンドゴルフ大会(共催：JA年金友の会連絡協議会)を赤坂総合公園で開催、管内23支部から173人が参加しました。大会当日は天候に恵まれ、参加者は厳しい暑さに負けず32ホールでスコアを競い、白熱したプレーを展開。日頃の練習の成果を発揮していました。本大会の上位15人は来たる10月18日に潟上市で開かれる全県大会に出場する予定です。なお、大会結果は次の通り。

- 【優勝】藤原 友子さん(平鹿) 67
- 【準優勝】阿部 福治さん(増田) 70
- 【第3位】村田 三郎さん(横手) 73

※数値はスコア

平鹿総合病院と直売の会 旬な地元産農産物を 病院食で“たっぷり”提供

平鹿総合病院は7月2日から8月31日まで「たっぷり横手野菜月間」として地元産農産物で心身の回復を応援する取り組みを実施しました。期間中には病院食にJA直売の会「ふるさと安心畑」会員が同院に納品したハウレンソウやトマト、ズッキーニなどの夏野菜を使用し、週5回入院患者に食材の栄養価を示したカードを添えて提供しました。

ハウレンソウを提供した直売の会会員の成田優さんは「生産した野菜を病院食として食べてもらえることで患者さんとの距離が近く感じられてとても嬉しい」と笑顔で話していました。

同院栄養科副技師長の鈴木真澄管理栄養士は「地元産野菜のおいしさを伝える食を通じて、病院医療につなげていきたい」と話していました。



▲アスパラガスのマフィンや夏野菜のキッシュなどのおやつ作りにも力を入れて病院食に提供



▲ホワイトボードで病院食メニューや横手野菜をPRする平鹿総合病院栄養科と直売の会担当者



▲「民謡日本一」小野花子さん（右）が会場を盛り上げた（横手支店／7月21日）



▲りんごジュースを求め長蛇の列を作る来場者（増田支店／8月4日）

JA夏まつり 屋台や餅まき、抽選会… 地域にぎわい親睦深める

横手支店、増田支店は組合員や地域住民との親睦を深める支店協同活動の一環としてJA夏まつりを開催し、2会場には多くの来場者が訪れ、にぎわいを見せていました。

横手支店では、横手支店駐車場を会場に、ハム切落としなどの屋台や野菜の直売、恒例の地場農産物やエコープ商品が当たる大抽選会を行いました。また、「民謡日本一」の小野花子さんをゲストに迎えた民謡ショーも開催し、会場は大歓声に包まれました。

増田支店では、櫻林御鷹太鼓の演奏で幕を開け、毎年恒例となっている限定特価の「りんごジュース」の販売に長蛇の列ができました。また、こちらも恒例となっている餅まきでは、年配の方から子どもまで飛んでくる餅やお菓子を楽しんでいました。

参加者は「人口減少と言いながらも毎年多くの人が集まるので嬉しく思う。これからも続けてほしい」と笑顔で話していました。



ご家庭でブドウ栽培を してみませんか？①

【指導員】 果樹課 大和屋 尚享

四季の営農
ワンポイント
アドバイス
【果樹指導】

秋

秋といえは、果物の季節です。管内でもリンゴやブドウ、梨など様々な果物が栽培され店頭に並びます。食後のデザートに、あるいは加工してジュースやジャムにと果物はいろいろな食べ方ができますね。

そんな果物ですが、皆さんも「育ててみたい」と思ったことはありませんか？

実際に植えてみたいと思っても、「家には広い庭なんてないし…」と諦めていませんか？

そんな皆さまに朗報です。知っている人、すでに実践している人もいるかもしれませんが、実は果樹は、「鉢植えが可能」なのです。今回は、鉢植え栽培について、ブドウを例として説明します。

ブドウには様々な品種がありますが、近年はシャインマスカットをはじめ、巨峰やピオーネといった大粒品種が特に人気があります。

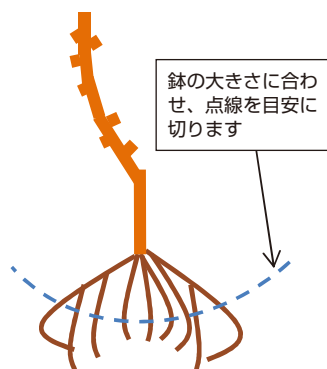
さあ、実際に植えてみましょう！

○準備するもの

- ・好きな品種の苗木（できれば接ぎ木苗）
- ・イボ竹
- ・大きめの鉢（10号）
- ・園芸用土（排水の良いもの）
- ・園芸用軽石

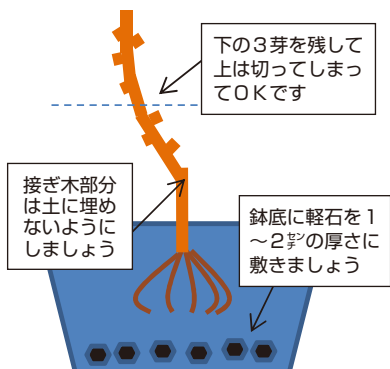
STEP ①

根っこを切り詰めましょう



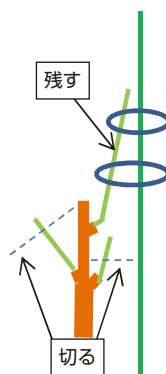
STEP ②

鉢に植えましょう



STEP ③

新梢が伸びたら支柱を立てましょう



○注意するポイント

・シャインマスカットや巨峰は大粒種、キャンベル・アーリーやナイヤガラは中粒種になります。好みに合わせて品種を選びましょう。大粒種は確実に実をつけさせるために、ジベレリンという植物ホルモンで処理して種なしのブドウにします。

・買ってきた苗木は乾かさないうちにしましょう。植える前に、水の入ったバケツに苗木を入れて、苗木に十分水を吸わせておきましょう。

・植えつけは10月下旬〜11月上旬か、4月中〜下旬が適しています。

・ブドウは排水が悪いと生育に影響を及ぼします。鉢底に軽石を敷きましょう。合

わせて排水の良い土を選びましょう。

・残した芽から新梢が成長してきます。成長の最も良い新梢を主枝候補として1本残して、残りは全て切りましょう。

・植えつけたら、肥料をひとにぎり（50グラム程度）表面にまいておきましょう。

・植えたばかりの苗木の成長を助けるためには、肥料をあげるより、しっかりと水をあげるの方が大切です。乾燥してきたな、と思ったら、たくさん水を与えてください。

・ブドウは病気や害虫にとっても弱いです。雨にあたると病気が発生しやすくなります。鉢を置く場所は雨が当たらない所、そして太陽の光がたくさん当たる所に置くようにしましょう。

◆ 成長が進んだ後の仕立て方などは、次回（翌年2月号予定）の営農ワンポイントアドバイスでお知らせいたします。お楽しみに！

地元の高校生が行く！ 突撃！ アグリリポート

136時間目「夏の生産現場を見学しよう！
しいたけ料理を作ってみよう！」

全部しいたけが
使われています！

農家さん直伝の
しいたけ料理をたくさん
教えていただきました！

秋冬菌の培養を
しているハウスに
お邪魔しました！

様々な方法で
刺激を与えてしいたけを
発生させています

収穫にも
再挑戦！

しいたけと野菜入り
の食事蒸しパン

しいたけ入り
ごはんピザ

しいたけの
ポタージュ

しいたけはチーズや
バターなど
油分と相性抜群！

横手清陵学院高校 1年

伊藤 雅桜さん

新江 瀬奈さん

今回、私たちは前回に引き続き、雄物川でしいたけを栽培している佐藤宏和さんを訪問し、しいたけの魅力を取材させていただきました。しいたけは適度な湿度や温度、刺激によって良く育ちます。佐藤さんはそれぞれ強弱をつけた刺激を与えており、このような工夫をすることで、形も美しく、おいしいしいたけが育つそうです。しかし、今年のように高温の日が続くと、菌床が白く変色するなど高温障害が出てしまうこともあり、とても管理が難しくなります。そのため、今年は例年以上に気を遣い、エアコンなどの装置で湿度や温度を一定に保つように配慮したそうです。

また、佐藤さんにおいしいしいたけの見分け方を尋ねると、かさの部分が直径5cmぐらいで、厚みがあるまんじゅう型が一番理想な形だと教えていただきました。佐藤さん自身、しいたけが苦手なのだそうです。素焼きやみじん切りにしてハンバーグに入ると苦手な人でも美味しく食べられるので、オススメです。

別の日には、J A女性部の小松田孝子さんからしいたけの調理方法を教えてもらいました。そこでは、しいたけと相性の良い食材や調理の仕方、旨みの引き出し方を学ぶことができました。実際に調理をしてみると、こんなにもしいたけの風味を引き出すことができるのかと、とても驚きました。

今回の体験を活かして、しいたけを使用した料理作りにいよいよ取り組みます。しいたけの旨みや魅力を最大限に引き出し、教えていただいたことを実践していきたいです。

明日を担う生産者たちの思いを探る

農に生きる

沼沢 成悟さん ■ 増田



好

きな言葉は「為せば成る」。

「ありきたりですけどね」と笑う沼沢成悟さんは就農して5年目。今年度、第16回「J A秋田ふるさと農業賞」において、産地の将来を担う若手生産者としてフロンティア農業賞を受賞しました。

桃の栽培への挑戦

園地で働く父の背中を見て育った成悟さん。高校在学中に今後の進路を考えた時、「頑張った成果が直接見える所に魅力を感じた」と就農を決意。高校卒業後はフロンティア研修生として平鹿町醍醐にある秋田県果樹試験場へ2年間通いました。「規模拡大にあたり、作業の一極集中を避けたい」と、就農後は元々成悟さんの家で栽培していたリングゴを生産品目のメインに据えながら、新たに桃の栽培に着手しました。

しっかりとした果肉と濃厚な果汁。お盆のお供え用としても重宝される桃「あかつき」。成悟さんの園地では、あかつきが桃の収穫の先陣を切ります。収穫作業は8月上旬から盆明けまで続き、その後は8月末に収穫を迎える川中島白桃の色付け作業に入ります。

桃はとてもデリケートな果物。強

風によるスレや害虫からの被害を防ぐため、まだ果実が小さい段階で袋かけが行われます。そして収穫1週間程前に袋をはずし、着色を促します。また、地面にも反射シートを敷くことで、太陽の光をたっぷり浴びた桃は甘みを増し、そして赤く色づきます。成悟さんは収穫時期の異なる5品種による品種リレーを行うことで作業を分散させており、9月頭まで収穫作業は続きます。



1. 桃に掛けられている袋は2重構造になっており、外側は簡単に外すことができる（品種：川中島白桃）

2. 外側の袋だけを外した状態。内側の袋が雨から桃を守る（品種：あかつき）（撮影日8月10日）





3. 整列して植えられているわい性台木



4. 自作したS字状の針金でクセ付けをする



5. 下垂誘引を施した側枝。枝が下向きに伸びているのがわかる



6. 枝を地面に着くまで下げても折れることはないという
(撮影日 8月10日)

メリットの多いわい性栽培

9月に入ると桃の収穫作業と同時に進行でリングの摘葉作業がスタート。その後10月には中生種リング、11月には晩生種リングの収穫と忙しい日々が続きます。

成悟さんの園地ではリング170[㎡]の内60[㎡]がわい性台木による栽培です。リングの台木は大きく分けて2種類あり、幹や枝が太く大きくなる丸葉台木と幹や枝があまり太くならないわい性台木があります。わい性栽培の利点は木が大きくならない事を利用した作業の効率化や省力化と反収の増加が挙げられます。木が大きくならず、枝も広がらないため、脚立の昇降が少なく済むほか直線状に植えることで農作業用機械が入りやすくなります。さらに、木1本あたりの収量は丸葉台木と比べ少なくなりますが、間隔を狭めた密植栽培が可能になるため、反収が増加します。こうした理由からわい性栽培を導入する農家は年々増加しています。

雪に負けない枝作り

メリットが非常に多いわい性栽培ですが、もちろんデメリットもあります。

リングの栽培で成悟さんが「一番大変」だと語る作業。それは冬の雪掘り。雪が降る度に先に降った雪が圧縮され、枝を下に引き込みます。枝は元に戻ろうとする力が働きますが、最終的に枝は下に引き込む力に耐えられなくなり折れてしまします。これを防ぐためには枝にかかった雪を取り除く、「掘る」作業が必要になります。

わい性栽培はこの雪による被害を受けやすい栽培方法であり、いかに被害を防止するかが課題でもあります。

「枝が雪の力に耐えられないならば、雪に逆らわない枝作りをしよう」。リング栽培の先進地でもある青森へ視察に行き、側枝の下垂誘引の方法を学びました。下垂誘引とは上に伸びようとする枝を細いうちから下に伸びるようにクセ付けをするこ

とで、雪が下に引き込む力に逆らわないようにすることです。この下垂誘引を導入後、成悟さんの園地では雪による枝折れ被害が減少しましたが、「つついっ心配になり、結局掘ってしま。自信のある園地は見回りを減らして省力化に努めたい」と語ります。

これからも成長し続ける

為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。強い信念を持ち、これだと信じた道を突き進む。就農して一回りも二回りも農家として成長した成悟さん。その歩みはこれからも決して止まることはありません。



沼沢 成悟さん (25)

■栽培品目 リング：170 a
桃：40 a
洋梨：14 a

やりがいを感じるのは、

徹底的に手を掛けた木の収穫を迎える瞬間！

和梨と洋梨

和梨と洋梨。見た目や食感など大きく違う両者ですが、どちらもバラ科ナシ属に分類されています。

和梨の特徴

和梨はシャリシャリした食感と、みずみずしくサッパリとした甘さが特徴です。この独特の

食感は和梨特有のものですが、これは和梨に「石細胞」と呼ばれるものが多く含まれているこ



とに由来します。この石細胞は通常野菜や果物の皮の部分に多く存在していますが、梨やマルメロなど一部の果物には果肉に多くの石細胞を蓄積しています。表面に存在する石細胞は組織を硬くし保護するためといわれていますが、果肉に存在する石細胞の働きについては現在もよくわかっていません。

この石細胞は、人間の胃腸では消化されず、腸を刺激し便通をよくする効果があるといわれています。

【梨と白菜のサラダ】

料理研究家 波多野 充子

point

みずみずしくて甘い梨&フレッシュな白菜、この季節ならではのパリパリサラダです。白菜は芯に近い、白っぽい部分の方がこのサラダには向いています。もっと甘口がお好きな方は、みりんの代わりに蜂蜜をご使用ください。



● 材料（2人分）

・ 梨	1個	ドレッシング ・ 梅干し 1個 ・ 水 小さじ1 ・ しょうゆ 小さじ1 ・ EVオリーブ油 小さじ1 ・ みりん 小さじ1 ・ 酢 大さじ1			
・ 白菜	100g				
・ 大葉	3枚				
・ いりごま	少々				

- ①白菜は長めの太千切り、梨は皮をむき太千切り、大葉は千切りにする。
- ②①を皿に盛り付け、10分ほど冷やしておく。
- ③梅干しの種を除き、スプーンなどでつぶしてから、ドレッシングの材料全てを混ぜ合わせる。
- ④食卓でいただく際にドレッシングといりごまを回し掛ける。

健康情報

核磁気共鳴画像診断装置（MRI）

平鹿総合病院 放射線科
診療放射線技師 佐藤 文昭



JA通信「ふるさと」をいつも楽しく拝読させていただいている一人です。今回、病院で画像診断装置を扱う立場からMRI装置を紹介させていただきます。

農作業が最盛期の昨今、JA組合員の皆様には長年腰痛や膝などの関節痛で悩まれている方もいらっしゃると思います。そのような痛みの原因を検査するための装置のひとつにMRI（核磁気共鳴画像診断装置）があります。磁力を利用して体の組織を分子レベルで識別することが可能で、骨や軟骨、神経、筋肉、靱帯、半月板などの組織を画像化出来るため、特に整形外科領域では必須の検査です。装置が導入されてから椎間板ヘルニアや膝関節症などの診断が容易になりました。（もちろんそれ以外の疾病検査もたくさん行っております）検査時間は20分くらいですが、多少音がうるさいのが難です。最新装置には画質の向上はもとより短時間撮像^{スワッパ}、静音撮像といった、より人にやさしい装置が出てまいりましたので、平鹿病院でも次の装置更新に検討している所です。

いつまでも健康で楽しく働くためには、早期発見・早期治療が何より大切です。我慢や無理をすることなく、お気軽に医療機関へご相談ください。

あめな ひと

元気なお年寄りをご紹介します。

【雄物川】 山本 香保子さん（88）

「幸せは作るもの」

3人の弟と5人の妹、9人きょうだいの長女として育った香保子さん。19歳の時、内職をして学費を稼ぎながら横手にあった洋裁学校へ1年間通いました。20歳になり、周囲の反対を押し切る形で東京へ出ましたが、洋裁の仕事は下火になっており、知人の勧めもあつたことから美容師の見習いとして働くことを決めました。3年程修行したのち地元に戻り結婚。東京での経験を生かし、地元で美容室を開業しました。美容師の資格を取得した妹の力も借りながら経営を続け、現在は長男の妻が美容室を守っています。



←丁寧に織り込みながら編んでいく。
現在作っているのはポットの下に敷く
マット



「昔からきょうだいに洋服を縫ってあげていたの」と語る香保子さんの趣味はもちろん洋裁。着付け室として使っていた美容室の2階を洋裁専用の部屋にし、エプロンやバッグ、クッションなど、多岐に渡る作品を毎日つくり続けています。



ミシンは洋裁に欠かせない道具。ミシンの調子が悪くなると「これが壊れたらもう買うのはやめよう」と思うそうですが、「新しいミシンをみるとやっぱり欲しくなっちゃう」と香保子さんは笑います。ミシンに向き合う時間は1日3時間以上。「朝9時から12時まででは必ずミシン掛けをしている」と、洋裁に対する熱量が伺えます。作品は遊びに来た人や美容室の常連さんなどにプレゼントしているそうですが、それでもどんな作品がたまっていってしまうのだそう。

集中して作業する香保子さんの傍らには鉛が常備されており、「甘い物に目が無い」という香保子さんを優しく癒します。

小さい頃から「健康優良児で大きい病気はしたことがない」という香保子さん。体力づくりの一環として週に1度のプールとヨガを楽しみにしています。「一人だとやる気がでないけど、仲間が一緒だとやる気がでる」と、プールは10年以上も継続しています。「幸せは自分で作るものなのよ」。香保子さんは今日も幸せを作り続けています。

を 知ろう！ 学ぼう！

意外と知らないJAの仕事
JA新採用職員が密着します。

担い手支援室 は…

「担い手と多様な農業者による地域農業づくり」と「情報変化に対応しうる経営体の育成」を基本方針として、自立営農組織・担い手農家の**経営安定支援**、所得向上に向けた多様な経営体の**育成支援**、地域農業の維持発展に向けた**農地利用支援**を重点実施事項として取り組んでいます。

今回は、「担い手支援室」
に密着します！



JA本店3階
担い手支援室前



平鹿営農センター 赤川未里



横手営農センター 湊谷正和



担い手支援室 農地利用調整担当
係長 藤原 春輝

地域の担い手に向く**担い手支援渉外(FAST)**や「**農地中間管理事業**」
「**農地利用集積円滑化事業**」
の利用による農地賃貸借の
窓口を担う**農地利用調整**、そして、
担い手の円滑な農業経営を図るため、
金融融資も含めた情報提供や経営
診断と改善計画を協議する**経営支援**
の主な3つが担い手支援室の職務
内容です。

担い手支援室 担い手支援渉外(FAST)担当
係長 熊谷 英樹

FASTは、意見・要望の情報収集と担い手の経営発展につながる
情報提供をおこなっています！



はい！いつも情報
ありがとうございます。
検討してみます。

こちらは新規作付に対して支援する
事業です。申し込みしてみませんか。



キュウリ収穫最盛期です！

ふるさと・アグリ・サポート・チーム
FASTの巡回にも同行！

今年、新規就農された平鹿地区の
泉田裕輔さんの圃場に来ました！

農地を託す方と農地を拡大したい、農業をやりたいと考えている方との仲介役として、私たちの所属する営農センターや支店との連携、農機や税金などの相談窓口として担い手支援室の果たす役割は大きいと感じました。また、横手市実験農場で研修を行う新規就農者の支援や若手世代の育成にも力を入れていることも知りました！



今月のテーマ：『月』

わたしの川柳

● 今月の最優秀作品

秋の月

萬里の田の面

包み抱く

小川 正雄さん(十文字)

● 優秀作品

満月に

祈る安産

手を握り

P.N らぐママさん(大森)

住む人の

無き家照らす

月あかり

P.N 新米シニアさん(大森)

曾孫から

あの月取ってと

そでひかれ

佐々木 幸一郎さん(大森)

月あかり

頼って稲刈り

若い頃

小野 良子さん(雄物川)

楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！
【10月号のテーマ】「秋」 【応募方法】 ハガキに川柳作品（パズルにご応募の方はその答えも）のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課 広報担当【応募締切】9月26日(休)当日消印有効
＜作品をご応募いただく皆さまへ＞ 掲載された作品を横手かまくらFMにおいて毎月第4水曜日午後12時15分頃より(変更あり)ご紹介させていただいております。作品と投稿者名(地区は除く)をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

応募作品数…17作品
■包み抱くという表現に月光の柔らかさや優しさが表現されていて素晴らしいです。

おたより

●横手のごっつお給食で、私はハンバーグがおいしかったです。
／大雄 M・Gさん(12)

本当に美味しそうな給食で羨ましく感じながら取材させていただきました。もし次回、取材させていただく機会に恵まれたなら、私も食べられるようお願いしてみようかと思っています。

●ごっつお給食の記事をみて、我が家の子ども達の小さい頃を思い出しました。当時の雄物川町はマツタケの産地で、秋の給食にマツタケご飯が提供されていました。子ども達は何日も前からその日を楽しみにして、欠席しないように気を付けたりしていました。25年も前の事ですすが懐かしく思い出されます。
／雄物川 S・Sさん(67)

自分の出身地ではどんな作物が生産されているかを知る事も

できますし、大人になってからこういう事もあったなと思いますこともでき、非常に良い事業だと感じています。これからも続いていくといいですね。

●夏の金沢、北陸の旅の特集がとても面白かったです。北陸方面には行ったことが無く、豪華客船にも乗ったことが無いので、機会があれば行ってみたいと思いました。
／雄物川 T・Oさん(30)

興味を持っていただけたようで、嬉しく思います。ぜひ次回開催時のご参加をお待ちしております！

●レシピのスイカシャーベット。いつもそのまま食べていましたがシャーベットもおいしそう。暑い日にはやっぱりスイカですね！
／平鹿 Y・Tさん(54)

我が家は3人家族のため小玉スイカがあつてよかったとつくづく感じました。夏はスイカですね！

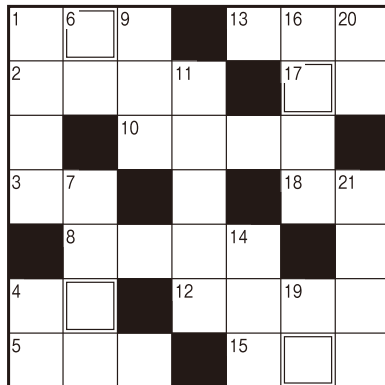


▲8月24日、浅舞野球スポーツ少年団の監督と主将が、9月8日から9日にかけて秋田市で行われる「第16回 J A 共済学童野球大会」に管内代表として出場するのを前に、当 J A に来組されました。今年は高校野球が大いに盛り上がりしましたが、冷めやらぬ熱気をそのままに、正々堂々と戦ってくれることでしょう。皆さんの活躍を心よりお祈り申し上げます。

管内の風景写真や自慢の逸品、珍野菜など、みなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当 J A ホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。(携帯からは、以下アドレスへ) 掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。
メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル

薄紅色や白色、橙色…
陽溜りに揺れています



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

タテのカギ

- 1 電流を流したり切ったりする装置
- 4 深谷、下仁田、九条といえ
- 6 膝より下、くるぶしより上
- 7 野山を耕して田畑にすること
- 9 鉄棒や跳び箱を使って行う——体操
- 11 木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- 14 体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- 16 年下の女きょうだい
- 19 田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- 20 あ、おいしそう。ひと——ちようだい！
- 21 カイコの繭から作ります

ヨコのカギ

- 1 十五夜に飾る植物
- 2 米の収穫作業の一つ
- 3 エレベーターの表示では「B」
- 4 よく飼われているペットなんだニャ
- 5 石原裕次郎と牧村句子のデュエット曲「——の恋の物語」
- 8 ——足りて礼節を知る
- 10 和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- 12 恋愛運や金運などを見てもらいます
- 13 カラオケ店で離さない人もいます
- 15 招く人がホストなら、招かれる人は
- 17 月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
- 18 佐渡島に保護センターがある島

山田耕民ohitsu“炭器”2合・HERA
3名様にプレゼント！



炊いたご飯を
冷蔵冷凍保存。
レンジで
温めればいつでも
ふっくら
炊き立てに近いご飯。
新米のおいしい季節に
いかがですか？

(J A 秋田ふるさと総務課広報担当 行)

①クロスワードパズルの答え

--	--	--	--

②住所

〒

③氏名 ふりがな _____ (P.N. _____)

④年齢 _____ 歳 ⑤電話番号 _____

⑥当誌の受け取り場所 _____

⑦今月の好きな記事とその理由
または当誌やJ Aへのご意見・ご感想

【応募方法】 川柳もこちら！

ハガキに左記①～⑦までの項目をご記入の上、下記までご応募ください。左の点線を切り取って管内最寄りの支店まで持参いただくかハガキに貼り付けてもご応募できます。なお、お寄せいただいたご意見は「おたより」のコーナーにて回答させていただきます。

【応募先】

〒 013-0036 横手市駅前町 6-22

J A 秋田ふるさと総務課広報担当 または J A 秋田ふるさとホームページ <http://www.akita-furusato.or.jp/> からでも OK。
「みなさんの声と作品をお寄せください」バナーをクリック！

【締 切】

9月26日(水)当日消印有効



■8月号の答え／ナツマツリ

■8月号の当選者／

菅原久子さん

高橋勝博さん

P. N. 健康シルバーさん

■応募総数／43通

■正解者数／43通



JA健康生き活き100歳プロジェクト 歩こう会

2018 秋編

JA健康生き活き100歳プロジェクトは標記行事を開催します。秋編の開催地は大森地区！紅葉で色づく木々を見て、涼やかな風を感じながらウォーキングで健康増進を図りませんか。みなさんのご参加をお待ちしております！

開催日：平成30年10月16日(火) ※小雨決行

集合場所：大森グラウンドゴルフ場駐車場

受付：午前9時30分～

開会：午前10時

会費：ひとり1,000円

持ち物：歩きやすい服装・靴、雨具汗拭きタオル、飲み物

入浴される方は入浴の準備 ※さくら荘内では飲食物持ち込み不可

募集定員：100人 ※定員になり次第締切

申込締切：9月28日(金)

申込先：各営農センター ※申込時に氏名・年齢をお知らせください

みんなで歩いた後は
さくら荘でゆっくり
おいしい昼食や温泉を
楽しみましょう！



「ジャンボスイカ重さ当てクイズ」の結果を発表します



前月号、今月号の広報誌でお知らせしました、「ジャンボスイカ重さ当てクイズ」に全国から1029通のご応募がありました。

正解重量は

道の駅「十文字」60kg

秋田ふるさと村 51kg でした！

たくさんのご応募ありがとうございました！

退職者のお知らせ

下記の職員が退職しました。大変お世話になりました。

【8月31日付】

赤川 奈美子（金沢支店）

鈴木 智佳（横手支店）

職員人事異動のお知らせ

下記の通り人事異動を行いましたのでお知らせします。

【9月1日付】（ ）は旧任部署

◆金沢支店 佐々木 智恵美（総務課）

食料・農業・地域政策の確立に向けた秋田県生産者大会を開催

JA秋田中央会と秋田県農協農政対策本部は8月23日、食料・農業・地域政策に確立に向けた秋田県生産者大会を秋田市で開催。秋田県副知事や県選出国會議員、県議會議員、JA役員など約1000人が参加しました。



▲JA秋田中央会の船木耕太郎会長が国會議員や関係者に要望

大会では食料安全保障の確立や国内農業・農村の維持・発展などを内容とする大会申し合わせを行い、満場の拍手で採択されました。



▲頑張ろう三唱を行い、意思統一した参加者



理事会だより

【第5回定例理事会】

平成30年8月29日開催

出席理事数32名（32名中）

議案（抜粋）

■保管事業規程 保管料単価の一部改定について

■平成30年産米の全量集荷・販売方針について

■平成30年度大豆センター利用料金の設定について

■平成30年度水稻種子センター利用料金の設定について

理事会メモ

報告事項第9号

農畜産物の生育及び販売状況について
 水稻については、出穂以降の気温が平年並みに推移しております。主力品種であるあきたこまちの積算気温による刈取り判断は8月1日出穂で9月13～17日、8月4日出穂で9月16～20日、8月7日出穂では9月20～24日と予想されます。向こう1か月の平均気温は高いと予想されておりますが、晴れの日が少ないと予想されております。（積算気温はあきたこまちで950～1,050℃、刈取り予想は、平年の平均気温より算出）

また、西瓜については8月末まで出荷量が45万C／Sで、最終販売額は約11億円となる見込みです。

(株)ふるさと葬祭アグレム

参加無料

人形供養祭

10/14
(日)

受付 9:00～

供養開始 11:00

大切にしていたお人形、ぬいぐるみなど丁寧に供養いたします

会場

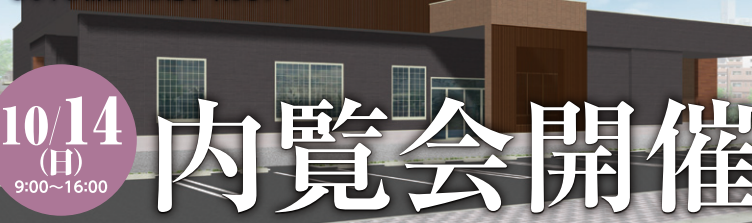
虹のホール アグレム よこて
 横手市三枚橋一丁目6-10 TEL.0182-36-3930



虹のホールアグレム 三枚橋

横手市横手町字下飛瀬201

オープン前のホールをご見学いただけます。
 ぜひ、お気軽にお越しください。



10/14
(日)
9:00～16:00

内覧会開催

株式会社ふるさと燃料サービスからのお知らせ

10月6日(土)、7日(日)の両日、

秋田ふるさと村ドーム劇場にて、日頃のご愛顧に感謝いたしまして「年に1度の大感謝祭」を開催いたします！

当日はガス器具や石油暖房機器、家電製品など“年に一度のお祭り価格”でご提供させていただきますのでご期待ください。

また、会場内には楽しい催し物や直売コーナーも準備しております。ご家族やご近所の皆様とお誘いあわせの上、ご来場お待ちしております。

年に1度の大感謝祭
 快適生活リーディングフェア
 Re:ading Fair
 in ふるさと村
 2018年10月6日(土) 7日(日)
 6日 9:30～15:00 7日 9:30～14:30
 秋田ふるさと村 ドーム劇場にて
 日ごろのご愛顧への感謝を込めて、最新のガス機器、暖房機器、住宅設備などを展示。ご家族どなたでもお楽しみいただける催し盛りだくさん！
 株式会社ふるさと燃料サービス
 横手市横手大字横手1-1-1 TEL.0182-32-7997

最新ガス器を使った
料理実演

ドキドキワクワクの
VR体験コーナー

などなど盛りだくさんです！

【お問い合わせ】

(株)ふるさと燃料サービス
 LPガスセンター
 TEL 0182-24-2343
 配送センター
 TEL 0120-019-813

ふるさとの民話

シシ汁

●再話／中川文子 ●画／佐々木倫美子

昔むがし、爺様と婆様、二人して暮らしてただけ。ある夜中、表の戸さバンとぶつかる音するけど。戸開げだば、白い小ったこい犬っこ、迷い込んできたけど。婆様、「あら、可愛い犬っこだご。これも何えがの縁だ。一緒に暮らすごえするべ」って、犬っことご抱き寄せただけ。

シロって名付けだその犬っこ、飯一杯食せれば一杯分、二杯食せれば二杯分、成長るなだけ。大きな犬になって、爺様、山仕事さ出がげるとしたば、「爺様、爺様、オラの背中さ乗れ」って言うけど。「乗れねや、乗れねや」って断ったども「ええがら、乗れ」っておが言うなで、鉄がら鎌がら、山仕事の道具も全部付けで、背中さ乗ったけど。シロ、山さ着いだば大きな

声で「あっちの山のシシ来い。こっちの山のシシも来い」って叫んだけど。

したば、あっちの山がらこっちの山がら、ボンボンボンってシシ、集まってきたけど。シロ、集まってきたシシ、全部噛み殺したけど。シシの肉持ぎやで家さ戻ったば、婆様大喜びして、さつそぐシシ汁こしやだけ。

美味やあシシ汁だおで、濁酒っこ飲みながら爺様と婆様とシロどってご馳走になったけど。そごさ、隣のヒクヒク老婆、「火っこ貸してけれ」って来たけど。隣の老婆さもシシ汁ご馳走した。したば、「こったに美味やシシ汁、今まで食ったごどねや。何ったごどして捕ったなよ」って聞くなで、「シロが噛み殺したなだ」って正直に教えだ。それ聞い



老婆、「なんじがシロどご貸してけれ」って願うけど。「でげねや」って断ったども、グリグリと連で行ったけど。

隣の老婆、シロの背中さ乗って山さ向がった。シロ、山さ着ぐなり「あっちの山の蜂、全部飛んで来い。こっちの山の蜂も全部飛んで来い」って叫んだ。蜂、「ブンブンブン」って集まってきた、老婆どごブスブスど刺したけど。体中赤きやぐ腫れ上がって、ウンウン唸りながら家さ戻った。

老婆、シシ捕ってくる老婆どご首長ぎやぐして待つてらば、オエンオエンと泣きながら血塗れになって戻ってきたけど。んだがら、人の真似なのするおでねや。とつぴんばらりのふう



▲QRコードを読み取る
音声で「ふるさと民話」をお楽しみいただけます。

JAの概況

Situation

組合員数	17,650人
（正組合員）	12,808人
（准組合員）	4,842人
貯金	1045億247万円
貸付金	332億8800万円
購買品供給高	27億5180万円
販売品販売高	17億2399万円
共済保有高(保障)	4067億2768万円
(2018年7月末現在)	

編集後記

前月号で「平成最後の夏」に触れたところでしたが、今年足農業高校が全国高校野球選手権大会で準優勝。全力で向き合う彼らの姿を見ては県内メディアさんさながら「あああ！」といった感嘆詞しか出て来ず、語彙力が失われていきました。何よりも嬉しく、和んだのが「元気の源は、あきたこまち！」という伝令選手の言葉。今年も「元気の源」が平穩無事に収穫を迎えられることを祈ります。

これを書いている9月3日現在。台風21号が非常に強い勢力で日本に向かってきています。台風で私が思い出すのが平成3年9月に襲来した台風です。当時の私は4歳。台風の過ぎ去った日の朝はとても静かであったと記憶しています。朝起きて、トイレに行き、背伸びをするとうやう外が見える窓から庭を見ると、色づきだしたばかりのリンゴが庭一面に広がっており、幼心にも異様な光景でありました。今年は日本に上陸する台風が多いように感じています。何もない事を願わずにはいられません。

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画／編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

